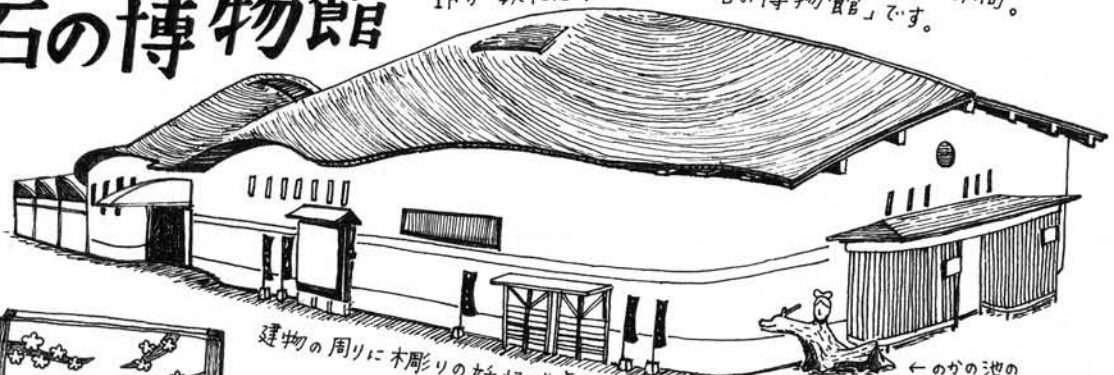


妖怪屋敷・石の博物館

国道32号線沿、建物の屋根は緩やかなラインを描き、背景の山に馬川染んでいる。美しい吉野川の眺めも最高。1Fが「妖怪屋敷」2Fが「石の博物館」です。



建物の周りに木彫りの妖怪が点在していて、ワクワクします。47...
 ←のかの池の
 竜神と乙姫
 (木彫りです)

手白狸
 入口手前に置かれた
 立て看板には、妖怪の小話が
 書かれていました。人の手を
 借りた、妖怪の温かいお出迎え。



鬼姥

鬼姥・山姥が
 好きです。怖い面
 を持つ一方で、
 恵みをもたらす
 一面もある。
 そして知れば、
 矢口ほど、人々に
 愛された存在
 だったように
 感じます。
 妖怪であり、
 実際は人間
 だったのでは
 ないかというのが
 私の妄想。

えれきてる紙芝居

1.
2.
3.
4.
5.
6.

紙芝居は大人になって観ても
 楽しい。



極悪非道の死霊「マド」に憑りつかれたか、障子の隙間から何が見える？



素材:発泡スチロール
 目の彫り具合が
 左右で微妙に
 違うので、目の見
 方が少しちがって、
 目が合いそうに
 合わないような...
 少し歪んだような
 感覚が、妖怪感を
 倍増させている。

技あり

妖怪屋敷に展示されてる妖怪たちは、地元の人たちの手作り。
 なんとも想像以上にクオリティが高く、驚きました。
 作り手の中には宮大工さんもおられるそう
 ですが、ほとんどは普通の人なのらしい。
 「本当に素人なんですか？」という私の問いかけに、
 おばあさんは「そう、この人形作った人も
 普通のおじさん」と教えてくれた。
 聞けば、発泡スチロールを刺身
 包丁で削られてるそう。刺身包丁...
 凄い技だと思っただけですけれど!



銭貸し妖怪

展示されてる妖怪のキッシュを
 よく読んで、奥の部屋にある「妖怪屋敷クイズ」
 に挑戦してください!! なかなか難しいぞ!
 (梶原は初級モクリアできず...無念)

天井から吊られた天狗や、一番奥の部屋の
 展示は圧巻です! 見ごたえあり。

妖怪コスプレ

地元の方お手製の妖怪ハットを
 いろいろ記念撮影できちゃう。
 どの妖怪も可愛くて、若い女の子たちが
 キャッチと記念撮影して
 ました。



←一目道

山菜そば



妖怪屋敷の
 近所「レストラン
 大歩危山菜」では、
 まんなかに、
 妖怪そばを食べれる
 らしいです。

大股で歩いても、小股で歩いても危ない場所だから「大歩危」「小歩危」なのだって。

映像

で観る紙芝居。
 下岡昭一さんが絵と
 語りを担当されています。
 この下岡さん、展示されてる
 妖怪のデザインもされた方で、紙芝居の
 登場人物の表情とか場面構成なんかも
 流石であった。



狸の嫁入り



野の金鯱



カワミサキ



2F「石の博物館」へ
 向かう階段の所にある
 案内表示が「石」。
 素敵です。博物館は
 石の奥深さと美しさを感じ
 いる展示で、私もウットリ。



男子トイレ

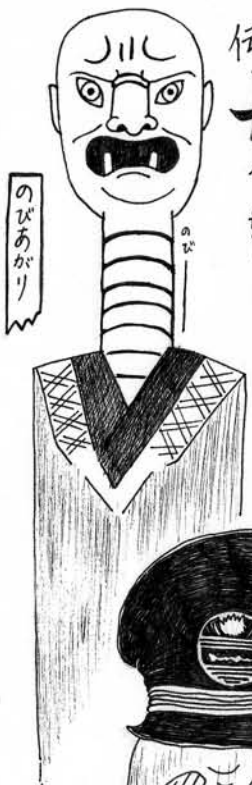
女子トイレ

トイレの表示も石っぽくて素敵だった。

伝説の里 藤川谷

妖怪めぐり

妖怪めぐりコースの入口の目印は、国道沿いのこの「のびあがり」。妖怪屋敷から藤川谷沿いに児啼爺の像を目指して歩く。往復約4kmのコース。山の緑、澄んだ川の水、気持ちの良い道中にはホッリホッリと妖怪もいらしゃる。妖怪は木彫りなので、雨風うけて朽ちます。その朽ち方はハンパなく恐ろしさを感じるものもあたりして、それはそれでリアルであり長いのであろうと納得したのである。



のびあがり



癒しの散歩コース



妖怪の休み場



児啼爺

2013年に、株式会社大歩危妖怪村が「児啼爺」を商標登録した。読みは「コナキジジ」なのだそう。



こなき爺

このたすきをわけてこなき爺駅長と一糸着に記念撮影できます。



妖怪コース・ロングコース(約4時間半の山道コース)も用意されていて、こちらは嬉しいガイド付き。ただし事前予約制、料金も発生するので、詳しくは妖怪村のホームページで確認を。

このロングコースには、興味深い見所も多いが、なにせ「山を登る」という、ちよとばかり気合いのいるコースなのである。昔、この辺の街道が山の上の方を通っており、その影響で、見所も山の上の方に集中しているらしい。人の暮らした妖怪は、共にあるのだな。毎年11月下旬に開催されている「妖怪まつり」は、たくさんの人と妖怪で賑わうそう。

←JR大歩危駅に佇むこなき爺は駅長の帽子をかぶってらっしゃる。



一目入道



おきん

くわん淵の主

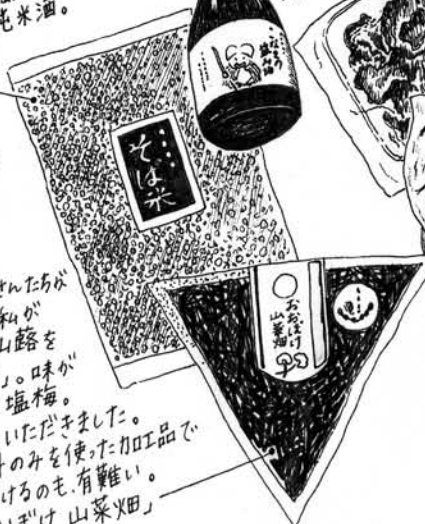
買ったもの

「大歩危こなきの温み酒」徳島・三芳酒造の純米酒。

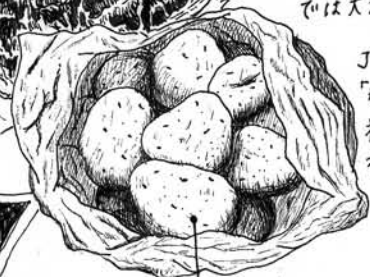


日本酒、そば米、きくらげは「道の駅大歩危」にて、キクラゲとごうしいもは「歩危マート」にて購入。

「そば米」そばの実から皮を取りのぞいたもの。このそば米を使って作る雑炊(そば米汁)は徳島の郷土料理なんだとか。



「キクラゲ」地元産のキクラゲ。チャック付きの保存袋に無造作に入れられた感じが、良い。コリコリとした歯ごたえが好きで、我が家では大活躍食材。



「ごうしいも」祖谷特産のジャガイモ。小ぶりでも、甘く、煮くずれにくいのが特徴なんだそう。

JR大歩危駅近くの「歩危マート」では、他に祖谷トースト、ぼけあげ、祖谷こんにゃくなど、地元の食材が販売されています。